

2013  
平成25年

# 迎春

評論家・樋口恵子さん

多田区長



葛西臨海公園にて

今、まさに「人生100年時代」を迎えようとしています。今回の新春対談は、女性の視点から社会問題に鋭く切り込む、評論家の樋口恵子さんをお招きし、多田区長と共に、高齢社会の現状や展望について語っていただきました。



# 新春さわやかトーク

## 「人生100年時代」、高齢社会の未来を語る

### 思いも寄らなかった 女性差別の現実

**区長** あけましておめでとうございます。

**樋口** おめでとうございます。

**区長** 今年もどうぞよろしくお祈いします。先生には以前から大変お世話になり、ご指導もいただいておりますが、改めてお話しができることをうれしく思っています。

**樋口** 江戸川区には、女性団体の集まりや講演会、シンポジウムなどで、何度もお招きいただいておりますので、親しみがあります。

**区長** ありがとうございます。先生は東京大学の出身でいらつしゃいますよね。東京大学と聞くだけで秀才だと思ってしまうのですが。

**樋口** そんなことはないですよ(笑)。

**区長** 先生は、大学を卒業されたら通信社の記者などを経て、フリーのジャーナリストとして現在も活躍されています。また、多くの大学でも教鞭を執られ、女性問題や人権問題、そして高齢者福祉などを研究されていらつしゃいますよね。

**樋口** はい、私が大学を卒業した昭和31年は、経済白書で「もはや戦後ではない」と言われた年でした。当時、就職難でしたが、ジャーナリストになるために一生懸命勉強していましたので、新聞社などの採用試験には受かる自信がありました。しかし、「女性は募集していない」などの理由で受けさせてくれるところが2社しかなくて…。

(2面へつづく)



■時事通信社に勤務していた頃の樋口さん



# 高齢社会は平和の配当 全ての世代に居場所と出番を



ひぐちけいこ  
**樋口恵子さん**

1932年、東京都生まれ。東京大学文学部美学美術史学科卒業。時事通信社、学習研究社、キャノンを経て、評論活動に入る。東京家政大学名誉教授、NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長。著書に、「祖母力」「私の古い構え」「女、一生の働き方〜貧乏ばあさんから働くハッピーばあさんへ〜」など多数。最新刊に、「大介護時代を生きる」がある。

**区長** 健康であるということは、自分自身の心掛けも大切ですが、社会的な仕掛けも必要であり、区でもいろいろなことをやっています。そうした中、私が疑問に思うのは、日本人の平均寿命です。今、男性が79歳、女性が86歳で、7歳の差があります。また、区内では100歳を超えた方が現在135人いらっしゃいます。そのうち男性が15人、全体の1割程度です。なぜ、このような差があるのでしょうか？

**樋口** 私が思うには、近年、男女平等になってきたと言われている、これまで長い間、男性が支配してきた社会でしたよね。それをいいことに、飲みたい放題、遊びたい放題で、結局、不摂生な生活になる。こういう部分が大いいたっていいんじゃないでしょうか。

**区長** えっ、そうですか(笑)。

**樋口** それと、「男性は外で一生懸命に働き、女性は家事・育児」という性別による分業がありました。この、男性の仕事一辺倒のライフスタイルは、様々な環境を体験していないため、あまり長寿向きではないのだと思います。

**区長** 会社人間、あるいは、仕事が生きたいという方々が多かったのかもしれないですね。

**樋口** そうですね。私が今、大事にしたいのは、「お役に立ちたい」という思いです。あらゆる

**区長** そういって、男の特権だと思われていたことが、実は人間として必要な生活の多様性を奪っていたのではないのでしょうか。ですから私は、長寿社会がうれしく仕方がありません。男性に、「男女平等のために料理を作りなさい」と言うのと反発されます。しかし、「あなたの長生きのために料理を作りなさい」と言うのと、「ふん」と言われて納得してくれるのです。いい時代になりました(笑)。

**区長** 今は、女性のほうが活動的で、外へ出て友だちをつくりやすいですね。それが健康には一番いいようですよ。その一方で、男性も元気で長寿でいるためにはどうすればいいのかわからない問題が出てきます。私が思うに、町会・自治会活動やボランティア活動など、いわゆる社会貢献を、友だちと一緒に取り組んでいただければ、そこですごい力を発揮できる気がするので、そこを促すために、何か活動ができるきっかけを作ることが大切ですよ。

**区長** 以前、文部科学省の「超高齢社会における生涯学習の在り方に関する検討会」で、委員として先生と一緒させていただきました。

**樋口** 半年ほどかけて議論しましたね。

**区長** その中で、高齢者が地域貢献をするためには、どんな仕組みを作りたいのかを議論しましたね。趣味やスポーツもいいのですが、やはり私は、「社会の役に立つことを実感できる場を作る」ということが大切なのではないかと思っています。

**樋口** 同感です。私が今、大事にしたいのは、「お役に立ちたい」という思いです。あらゆる

**区長** 江戸川区は、「〇〇隊」というのがいくつもあります。例えば、小・中学生が敬老の日には区内の公衆浴場へ行き、お年寄りの背中を流す「お背中流し隊」があります。

**樋口** 面白いネーミングですね！

**区長** 毎年、およそ400人が志願してくれまます。もう10年くらいやっていますが、孫のような子どもたちが一生懸命に背中を流してくれるので、お年寄りのみなさんが喜ぶんです。

**区長** さらに、裸の交流、スキンシップですね。

**区長** また、小・中学生による「肩コリなくし隊」があります。

**区長** 江戸川区は、「〇〇隊」というのがいくつもあります。例えば、小・中学生が敬老の日には区内の公衆浴場へ行き、お年寄りの背中を流す「お背中流し隊」があります。

**樋口** 面白いネーミングですね！

**区長** 毎年、およそ400人が志願してくれまます。もう10年くらいやっていますが、孫のような子どもたちが一生懸命に背中を流してくれるので、お年寄りのみなさんが喜ぶんです。

**区長** さらに、裸の交流、スキンシップですね。

**区長** また、小・中学生による「肩コリなくし隊」があります。

**区長** それはどんなときにするのですか？

**区長** 区民まつりでやっています。専門家の指導を受けて、大勢の子どもたちが、来場者の肩もみをするのです。これも大変喜ばれていて、いっけいことですね。特に現代は、祖父母と同居していない子どもが多いですから、いい経験になります。楽しく世代間交流ができる取り組みを行うことは、すばらしいと思います。

**区長** ほかに、全小中学校で、「すくすくスクール」という事業を行っています。放課後に地域の人々から、囲碁、将棋、生け花、そろばんなど、様々なことを教えてもらっています。

**樋口** それも交流ですか？

**区長** そうです。それに加えて、子どもたちの人格形成も目指しています。地域のみなさんの力を借りて、世代間交流を行うことが、人を育てていく決め手だと思うのです。そこに、地域貢献という生きがいを求める方々にも参加していただけたらいいですね。

**「人生100年時代」の出発点、元気で魅力ある「幸福社会」を！**

**区長** これからの社会は高齢者が増えていきますから、介護や病気に対して、しっかりとケア



(右下からつづく)



# 新しい時代の幕開けを 良きコミュニティで支える



江戸川区長 **多田正見**

の声を基にして論じていらっしやる点が多いのではないのでしょうか。

**樋口** 結局、志を果たせざる大いな新聞社の記者にはなれませんでした。取材活動を通じていろいろな人の声を聴くことができ、本当にありがたいです。我以外皆我師」という言葉があります。お嫁さんたちのおかげです。

## 「大介護時代」を 生きるために

**区長** もう、完全な門前払いです。それでも最終的には、時事通信社に採用されて記者になりました。

**区長** 就職までに相当な苦労をされたんですね。

**樋口** そこで2年ほど勤め、ジャーナリストのイロハを学べたことは、心から感謝しています。しかし実際は「仕方がないから採用した」と、全然期待されていなかったのです。私は「女性ってこんなに差別されるの？」と「差別は仕方がないって思わなくては行けないの？」といった疑問が湧き、「ああ、働く女性の未来はないのだなあ」と、絶望的になりました。

**区長** 私たちの世代で、女性差別の問題があったことはそれなりに分かっていたと思いますが、先生のお話を聞いてみると、根深い問題があったのだなと感じます。

**樋口** その後の昭和45年、大阪万博が開催された頃から、高齢化による介護の問題も話題になり始めていました。しかし、「介護は嫁に任せておけばいい」と、社会は取り上げてくれませんでした。取材をする中で、「介護がつかいと夫に弱音を吐いたら、『舅と姑の介護をしないのなら離婚する』と言われ、病気に侵され命を縮めながら、泣く泣く介護をしている」というお嫁さんたちを見てきました。私は、お嫁さんが世話をすることが悪いとは言いません。当時の日本の美風だったと思います。しかし、高齢化が進み、お嫁さんだけでは背負いきれないほど介護の量が増えてきていたのです。

**区長** 先生は、そういうところに相当量の取材をされて、様々なことを実感してこられたと思います。そして先生の主張には、こうした現場

**区長** 介護保険が始まるまで、先生は制度を考える審議会の委員でしたよね。当時の先生のコメントは、今でも覚えています。「今までお嫁さんが介護を一生懸命やっていることは親孝行であり、親の面倒を見ることは当たり前という風習があった。しかし、そのことから女性を解放しなければならぬ。つまり、家庭介護から社会介護へと移行させ、その制度を国家が保障しなければ介護保険の意味がない」と。それを聞いたとき、「介護」の本質を教えられた気がしました。

**樋口** 介護の問題に関しては、私が予見したとおりになってきたと思います。今まで介護の第一幕だとすると、まさに今年あたりから介護の第二幕、「大介護時代」が始まると思います。人口構成が大きく変わり、一人のお年寄りのそばに、一人の元気な世代の介護者がいるという家族像が崩れつつあります。これからは、介護に対して社会のあらゆる力を総動員して、総力戦で高齢者を支える時代になっていきます。すなわち、これからの介護のキーワードは「地域」だと思っています。

**区長** 今、先生は「地域」というキーワードをおっしゃいましたが、地域と言えはコミュニティであり、良い地域コミュニティがないと、より良い介護基盤を築いていくことはできません。先生は、今回の東日本大震災で区民のみならず、被災地のためにと義援金を寄せてくださいました。その額が数か月で3億7000万円

**区長** 先生は長らく「高齢社会をよくする女性の会」(下欄参照)を主宰されていますね。

**樋口** 今年でちょうど設立30周年を迎えます。

**区長** とても先見性があり、多角的な取り組みをされていると思います。私も先生の勧めで入会しています。時々、講演を聴かせていただきますが、先生はすばらしい言葉をよくお創りにされますよね。先ほどの「大介護時代」も先生が創った言葉だと思のですが、ほかにも「ローバ(老婆)は一日にして成らず」とか…。

**区長** 先生は長らく「高齢社会をよくする女性の会」(下欄参照)を主宰されていますね。

**樋口** 今年でちょうど設立30周年を迎えます。

**区長** とても先見性があり、多角的な取り組みをされていると思います。私も先生の勧めで入会しています。時々、講演を聴かせていただきますが、先生はすばらしい言葉をよくお創りにされますよね。先ほどの「大介護時代」も先生が創った言葉だと思のですが、ほかにも「ローバ(老婆)は一日にして成らず」とか…。



(左上につづく)

**シルバーお助け隊** 主に65歳以上の熟年者のみの世帯を対象に、隊員一人が1時間程度で完了する家庭内外の簡易な業務を行います。利用料は1回あたり300円。☎熟年人材センター ☎(3652) 5091

**高齢社会をよくする女性の会** 昭和58年設立。平成17年にNPO法人となる。個人会員約900名、グループ会員約80団体、賛助会員9名。会員は、全国各地の研究者、福祉・医療専門職、行政職員、地域ボランティアリーダー、主婦など多様。



(3面からつづく)

をしていくことが大切な柱の一つになります。そしてもう一つの柱は、多くの方々に地域の中で活躍していただき、もともと元気になっていただくことです。私は、この二本の柱を確立していく必要があると思うのです。

**樋口** 元気な高齢者に社会参加をもうろうという入り口は、多様で無数にあっていると思います。こうした社会活動が病予防になり、ひいては社会的な介護予防につながります。私流のフレーズで申しますと、『歩いて買物、近くに仲間、ちよと稼げる仕事があって、これが本当の介護予防』です。

**区長** いいフレーズですね、私も使わせていただきます。**樋口** 今後、元気な高齢者が増えて、日本中の介護保険の要介護認定率が江戸川区並みに下がっていけば、ものすごく介護費用の圧縮になりますよ。

**区長** 江戸川区の高齢者はとても元気だと思えます。しかし、これを維持していくためには、行政の力だけでは限界があります。区民のみなさんがこれからの高齢社会をどう生きるのかを、自分自身の問題として前向きに考えていただくことが大切ですね。

**樋口** 明るく考えなければバチが当たりますよ。私たち高齢者は、平和と豊かさのおかげで今を生きていることができ、そして「人生100年時代」という新しい社会の恩恵を受受できるのです。こんなに恵まれた社会を元気に過ごしていかなければ、長生きができずに亡くなられた方々に顔向けができません。

**区長** そのとおりですね。それと、目標を持って何かに全力で打ち込んでいる方は健康長寿だと思えます。例えば、プロスキーヤーで登山家の三浦雄一郎さんが、今年、80歳でエベレスト登頂に挑戦するそうです。三浦さんは70歳と75歳で登頂して、今回で3回目です。これは、エベレスト登頂という目標に向かって人生をかけていると思うのです。

**樋口** 女性の参政権の神様と言われた市川房枝さんが生前80歳の頃、新聞のインタビューで「元氣な理由は何ですか?」と聞かれ、「私にはすることがある」と答えていらっしゃいました。全ての高齢者の方々が、市川さんと同じことが言えるような人生になれたらいいなと思えますね。

**区長** 「自分は社会的な使命を全うする」という気持ちが大切なんでしょうね。

**樋口** 今日は、江戸川区の高齢者の方々が大変お元氣でいらっしやることを伺うことができました。私の「希望

の囁きリスト」の中に加えさせていただきま

**区長** そうおっしゃっていただき、大変ありがたいです。

**樋口** 私が高齢者のみなさんに呼びかけたいことは、「我々が人生100年時代の初代として、いいモデルを作っていく」ということです。私たちがいい生き方をしようとするのは、我々のためだけではありません。これからの世代が幸せになれることに、いつも配慮する高齢者でありたいと思っています。それが超高齢社会、人生100年時代に対する「祝福」と「挑戦」なのです。私は同世代の方に、「今まで結構せいたくをし、年金ももらっている。だから食い逃げだけは絶対にするまいぞ。年を取ってもできることをして、この世の中に少しでもチップを置いていこうじゃないか」と言っています。こういう活動を、ぜひ地域の中で広げていきたいと思

**区長** そうですね。ぜひ模範を示してください。私も、追いかける所まで追いかけてください(笑)。**樋口** いえいえ、私なんか沈む夕日を追いかけているだけですよ(笑)。でも、私は「夕日だって朝日だって同じ太陽だ」と思っていますけどね。

**区長** 確かに同じ太陽ですね。**樋口** そして、「夕焼けが輝けば、明日は晴れるよ明るい未来!」**区長** 「日はまた昇る」ということですね。**樋口** そうです。日はまた昇り、いい人生100年を次の世代が引き継いでくれることを、私は割と樂觀的に確信しております。

**区長** 今日は元氣の出るお話をいろいろ伺いました。本当にありがとうございます。**樋口** こちらこそ、どうもありがとうございます。江戸川区のご発展を心からお祈り申し上げます。

**区長** ありがとうございます。これからも頑張ってください。先生におかれましても、ますますご活躍いただき、今後ともお力添えをよろしく願っています。



長生きを心から喜べる社会の実現のために、祝福と挑戦の人生を歩み続ける樋口さん

### 休日急病診療

- 診療時間⇒9時~17時(急病のみ受け付け。往診は不可)
- 外科は救急病院(「平成24・25年度くらしの便利帳」192ページ参照)をご利用ください。
- 当番医(変更になる場合もあります)、医療機関の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
- ▷江戸川区医師会テレホンセンター=日曜・祝休日9時~17時 ☎(3651)5270/FAX(3654)4902
- ▷東京消防庁救急相談センター=24時間
  - ・携帯電話・PHS・プッシュ回線⇒☎#7119
  - ・ダイヤル回線⇒☎(3212)2323
- ▷東京都保健医療情報センター「ひまわり」=24時間 ☎(5272)0303/FAX(5285)8080

### 江戸川区医師会休日・夜間急病診療所

- 診療科目⇒小児科・内科
- 診療時間⇒①日曜・祝休日9時~17時 ②毎日21時~翌朝6時
- 問い合わせ⇒①☎(3655)5151/②☎(3651)5270
- ※右欄の江戸川区医師会館の地図を参照。
- ※応急処置のため、薬の処方是最小限となります。

### 休日急病当番医

- 1月2日**
- 内—辰巳内科消化器科クリニック 一之江7-35-22 ☎(5678)5115
  - 小—吉岡医院 南小岩5-16-8 ☎(3657)1037
  - 小—塚本医院 東小岩5-32-10 ☎(3657)0864
  - 内—同愛会病院 松島1-42-21 ☎(3654)3311
  - 眼—田中眼科 北小岩6-11-1 ☎(3657)5597
  - 耳鼻—耳鼻咽喉科鈴木医院 篠崎町4-3-5 ☎(3676)1150
- 1月3日**
- 内—田村医院 江戸川3-39-26 ☎(3679)0576
  - 小—辰巳内科消化器科クリニック 一之江7-35-22 ☎(5678)5115
  - 小—玉城医院 東小岩6-1-3 ☎(3657)1011
  - 内—きうち内科クリニック 本一色3-39-2 ☎(3655)0600
  - 眼—田中眼科 北小岩6-11-1 ☎(3657)5597
  - 耳鼻—吉田耳鼻科医院 西葛西6-13-7 ☎(5667)6100

### 1月4日

- 小—アンヌ小児科 東松本1-14-9 ☎(3672)1071
- 内—久田医院 平井1-27-7 ☎(3681)0081
- 小—藤医院 西小岩3-28-14 ☎(3672)9333
- 内—梨山診療科・内科クリニック 東葛西6-1-17 ☎(5675)7223
- 眼—田中眼科 北小岩6-11-1 ☎(3657)5597
- 耳鼻—赤上医院 南小岩7-18-13 ☎(3657)1435

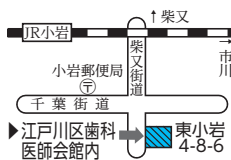
### 1月6日

- 小—キップスこどもクリニック西葛西 西葛西6-12-1 ☎(5878)3918
- 内—杉山医院 松島2-28-6 ☎(3653)2022
- 小—船堀駅前整形外科内科 船堀2-22-14 ☎(5658)8711
- 小—速水医院 北小岩6-47-6 ☎(3672)6759
- 内—高野医院 篠崎町4-12-12 ☎(3670)7550
- 眼—二本松眼科病院 平井4-10-7 ☎(3681)1257
- 耳鼻—しんでん耳鼻咽喉科医院 西葛西8-12-17 ☎(6411)4133

### 休日歯科応急診療

#### 1月2日~4日・6日

- 診療時間⇒9時~17時
- 電話またはファクシミリで予約のうえ、16時30分までにお越しください。休日専用☎・FAX(3672)8215



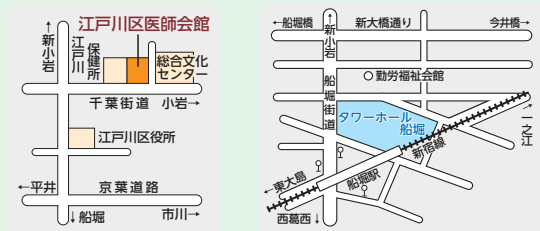
### 休日応急当番接(整)骨院

- 施術時間⇒9時~17時
- 1月 安藤整骨院 大杉5-6-21 ☎(5678)0678
- 2日 なめき接骨院 西葛西5-10-14 ☎(5696)2844
- 1月 豊岡接骨院 中央1-18-5 ☎(5662)7663
- 3日 たかもと接骨院 東瑞江2-54-36 ☎(3698)8770
- 1月 後藤整骨院 松江7-22-4 ☎(3652)0225
- 6日 町田接骨院 本一色3-35-2 ☎(3653)6357

●受診の際は必ず健康保険証などを持参してください。

### 年始 休日急病診療所

- 回 1月4日(金)までの9時~17時
- 診療科目 小児科・内科
- 場 江戸川区医師会館☎(3655)5151/江戸川区医師会医療検査センター(タワーホール船堀6階)☎(5676)7799=開設時間内のみ



### えどがわ区民ニュース 新春1月号放映中!

#### 新春対談

「人生100年時代」、高齢社会の未来を語る

#### ◆CATVで放送中!

◎J:COM江戸川 11チャンネル (9時から/12時から/20時から)

#### ◆えどがわ区民ニュース Broad Band

http://www.news.city.edogawa.tokyo.jp/ スマートフォンでも快適にご覧いただけます。 問 DVDなどの貸し出し・申し込み ☞映像広報係☎(5662)6167

### 江戸川区成人式

回 1月14日(祝) 場 総合文化センター 日 平成4年4月2日 ~5年4月1日に生まれた方 問 青少年係☎(5662)1629